

設 立 趣 意 書

北海道の豊かな自然環境を後世に引き継ぐとともに、基幹産業である農林水産業や観光産業などをはじめ、本道の産業活動が将来にわたり、持続的に発展できるよう、循環型社会の実現に向けた取組が必要となっています。

一方、北海道における産業廃棄物は、全国の約1割にあたる年間約4千万トンが排出されており、再生利用率の向上と最終処分量の削減が求められています。

特に、石炭灰やライムケーキなどの本道産業の特徴を反映して排出される無機系廃棄物については、循環的な利用に関する個別の検討は一部行われてきておりますが、さらにその利用促進を図る必要があります。

今般、産業活動で排出される無機性の循環資源について、排出者や再生利用者、有識者、行政機関などの関係者が一堂に会し、循環的な利用に係る課題を協議し、循環型社会の実現に向けた具体的な取組を一丸となって促進するため、「北海道循環資源利用促進協議会」を設置することといたしました。

つきましては、今後の北海道における循環型社会の形成推進のために関係の皆様のご協力と協議会へのご参加をお願い申し上げます。

発起人（氏名50音順：敬称略）

代表 青木次郎（北海道 環境生活部環境室長）

蒲原 均（日鐵セメント株式会社 製品営業部・部長）

高橋敏昭（北海道経済連合会 理事・事務局長）

千葉和幸（エコロジア北海道21推進協議会 事務局）

千葉 博（北電興業株式会社 プロジェクトマネージャー）

中村裕一（北海道電力株式会社 企画部環境室長）

浜谷 裕（ナラサキ産業株式会社 建設資材部門・部長）

藤嶋正紀（株式会社ドーコン 都市環境部部長）

細井茂樹（日本ビート糖業協会 札幌支部運営委員長）

松坂宏司（北海道紙パルプ協議会 常務理事）

八塚 隆（新日本製鐵株式会社棒線事業部室蘭製鐵所 製品技術部長）